

本駒込図書館



本駒込図書館

今回は、文京区立本駒込図書館での仕事を職業体験という形で体験させていただきました。3日間という短い間でしたが、充実した3日間だと思います。主な仕事内容は、本棚の整理・本の返却・本の修理です。
また私が行った日の中に、子ども会があったので子供たちが騒ぎ出さないようにする役目というかたちで見学させていただきました。

子供が少し騒ぎ出してしまったときの職員の方たちの対応はやはり手馴れたもので、泣き出してしまいそうだった子供もあやされ、泣き止んでしまいました。子供が泣き出してしまいそうになったとき、オロオロとした対応はできなかつた私はその姿を見、凄いなあと少し感動してしまいました。
本の修理では専用のテープやボンドを使って直ししました。といっても、慣れないためなかなか上手くいかなく、逆に汚くしてしまうのではないかと不安に思いました。けれど何冊かをやっていくと少しは慣れてきて、最後の方には上手くできるようになっていきました。
本棚の整理は茗台中学校の図書室とだいたい同じでしたが、本の背表紙を本棚の端に揃えるという作業が思いのほか大変でした。綺麗に揃えても、次の日になると来館者の方がずらしてしまうことがあるからです。
最後に主な仕事としては本の返却ですが、言葉通り返ってきた本を本棚に戻すという仕事です。ただ、本を返すところは一冊一冊違うので背表紙に貼ってあるシールを見て調べなくてはなりません。例えば小説の場合、作者の名前が夏目漱石だったとします。夏目漱石の最初の文字は「な」なので、小説の棚で「な」の段を探します。そして見つかったらその段のあいいうえお順に入れていきます。本の種類によつてしまい方も勿論違います。場所も場所を勝手に移動されると

また大変です。その作業は、本の整理の途中に気づくことが大半なので、その際に移動させるのですがその量が多いと余計な手間が多く掛かります。なので来館者の方々に（私も含めて）特に気を付けてほしいことでもあります。
他にもいろいろと体験させていただきましたが、主にやらせていただいた仕事はこの3種類です。
他に体験させていたいただいた仕事では、本のビニールカバー付け・子ども会で使う折り紙・予約の仕方・リサイクル本のシール貼りなど……どれも普段やらないことで、新鮮な体験をさせていただきました。



本の修繕



本の整理

担当者さまに質問しました

- Q: 図書館の仕事内容を詳しく教えてください。
- A: 利用者の求める資料の提供、保存、収集が主な仕事です。
- Q: どのような資格が必要となりますか。
- A: 公務員の事務試験がありますが、司書や司書教諭以外は基本ありません。
- Q: この仕事をしていて良かったと思ったことを教えてください。
- A: 利用者の求めている資料を提供できたときです。
- Q: 本の場所は大体頭に入っているのですか。
- A: 経験といますか、自然と頭に入ってきます。
- Q: 返つてこない本はどうしていますか。
- A: 返却者に督促して（電話→ハガキ→貸し出し停止）、最終的にはデータから落とします。
- Q: 今の仕事には満足していますか。
- A: 長いですが、合った仕事……働き甲斐のある仕事だと思っています。
- Q: 本は好きですか。
- A: 好みはあります。歴史ものと……、最近ではエジプト史です。中学生のときはSFものに凝っていて、星新一とかをよく読んでいました。
- Q: この仕事に何を考えていますか。
- A: 福祉希望でしたが、全く違う職業につきたいと思いい、図書館希望を出したらスナナリと通ったので……（笑）。ペテランになってくるといろいろな図書館を、回されています。
- Q: 来館者にされてしまう困ることなどはありますか。
- A: 1番は資料の扱いです。切り込みや書き出し、シワシワにされたりすると困りますね。最近はルーズになってきているので、館内で携帯電話を使われたり、閲覧席で話したりするのも止めてほしいです。
- Q: 仕事をしていて特に気をつけていることなどはありますか。
- A: 個人情報取り扱いに気をつけています。読書内容も隠さなくてはならないのですが、確認のため画面をみせてしまったりすることがあるので、気をつけていきたいです。
- 最後に……
- Q: 私たち中学生にアドバイスをお願いします。
- A: 幅広くいろいろな事に興味を持ってほしいです。極端ですが浅くてもいいので、広くのめり込んでほしいです。

職業体験を終えて

今回職業体験という学校行事をかりて、本駒込図書館の職員さま方にご迷惑をお掛けしながらもこの仕事を体験させていただきました。
朝早くに電車に乗るという行為や、慣れない行為の連続のためか3日間という期間が終了したときには「終わった……」という開放感がありました。けれど、よく考えてみると職員さま方は毎日この仕事をしています。
いつも何気なく見ている仕事をしている人。電車の駅員さん、学校の先生方、一番近くにいる父も母も仕事の形は違うけれども、毎日働いているのです。
今回私が体験した職業体験は3日間という短い期間、区切りのある期間でした。しかし将来私はきっと仕事につくのだろうし、毎日仕事をするのでしよう。
今回の職業体験は学校生活と社会の違いなど、普段子どもとして生活しているとわからないことも少しわかってきた気がします。それは気だけかもしれませんが、それでも今回のことは将来社会にでたときのための良い体験となったと思います。